



草の根・人間の安全保障無償資金協力 「ビシュケク市点字印刷機整備計画」供与式の開催

2024年11月26日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「ビシュケク市点字印刷機整備計画」の機材供与式が公共基金「プラス」（社会福祉団体）の事務所で開催され、合田秀樹駐キルギス共和国日本国特命全権大使の他、サムクバエヴァ・キルギス共和国教育・科学次官、トロノヴァ公共基金「プラス」代表及び同基金職員等が出席しました。

本案件では、視覚障害者学校への教材等の点字印刷製本を行う公共基金「プラス」に対し、56,112 米ドル相当の点字印刷機7台、製本機3台、ペーパーカッター機器1台及び紙用ニス塗装機1台が供与されました。合田大使はスピーチの中で、今回供与された機材により、視覚障害児への教育環境改善を図り、キルギスの視覚障害者の自立に繋がることを期待する旨述べました。



